

事業名	当初予算額 (前年度予算額)	説明
警察運営費	1,163,658 (1,097,089)	<p>重 1 「命の大切さを学ぶ教室」推進事業 1,219</p> <p>将来の社会を担う中学・高校生を対象に、犯罪被害者遺族等を講師とする「命の大切さを学ぶ教室」を開催し、社会全体の規範意識の向上を図る。</p>
使	344,288	
財	12,765	
諸	33,303	
⊖	773,302	
装備費	475,504 (596,909)	<p>重 1 警察救助部隊の高度化事業（資一警察1） 1,578</p> <p>大規模地震や風水害、原子力災害などのあらゆる災害、あるいは列車事故などの重大事故発生時において県民の命を救うため、救出救助活動に要する警察官の技術と能力の向上を図る。</p> <p>2 警ら用自動車の更新整備 27,355</p> <p>全ての警察事象に即応しなければならない地域警察活動の基盤となる警ら用自動車（白黒パトカー）の更新整備を図る。</p> <p>⊕ 3 犯罪抑止車両等の警察車両の強化 18,430</p> <p>現有の老朽化著しい交通事故処理車及び交通取締用車等の警察車両を更新して各種警察活動の基盤を強化し、積極的な検挙活動を推進することなどで犯罪抑止の実現を図る。</p>
国	140,877	
⊖	334,627	
警察施設費	1,951,628 (419,055)	<p>1 近江八幡警察署移転新築整備 585,827</p> <p>老朽・狭隘著しく、耐震基準を満たしていない近江八幡警察署の移転新築整備に伴い、移転先用地を滋賀県土地開発公社から買収し平成27年度の事業完了に向けた建築工事を開始する。</p> <p>2 甲賀警察署移転新築整備 663,472</p> <p>老朽・狭隘著しく、耐震基準を満たしていない甲賀警察署の移転新築整備に伴い、移転先用地を滋賀県土地開発公社から買収する。</p>
国	73,489	
財	59,147	
繰	195,600	
起	1,252,600	
⊖	370,792	

事業名	当初予算額 (前年度予算額)	説明
		<p>3 警察署等庁舎の耐震補強工事（資－警察2） 179,850</p> <p>災害時の防災拠点として「特に重要な県有施設」と位置付けられた警察施設のうち、耐震化が未了の東近江警察署・交通機動隊庁舎の耐震補強工事を行う。</p> <p>4 交番・駐在所の新築整備（資－警察3） 232,588</p> <p>地域防災の最前線基地となる県下全ての交番・駐在所のうち耐震基準を満たさず、経年劣化による老朽化が著しく、地震等の発生時に倒壊の危険性がある7施設を新築整備する。</p> <p>⑤ 警察本部長公舎等の新築整備 3,870</p> <p>老朽化著しく倒壊の危険性がある大津警察署長公舎の更新に際し、同所に警察本部長等の合同公舎を併設して、突発重要事案の発生などの有事における指揮命令権者等の居所の耐震化を図る。</p> <p>⑥ 米原待機宿舎の新築整備 192,572</p> <p>有事における即応体制を確保するため、米原警察署敷地内の用地に警察官待機宿舎の新築整備を図る。</p>
刑事警察費	<p>412,548 (413,482)</p> <p>国 21,054</p> <p>使 41,128</p> <p>⊖ 350,366</p>	<p>① 1 犯罪の起きにくい社会づくりのための「地域の絆」再生事業 4,419</p> <p>犯罪の起きにくい社会を実現するため、重層的な防犯ネットワークを構築し、ボランティア活動の活性化および地域の絆を強化して、犯罪の起きにくい社会づくりを推進する。</p> <p>② 2 サイバーボランティア活動支援事業 900</p> <p>サイバー空間の浄化等のため、違法・有害情報の発見を目的としたサイバーボランティアによる多岐の活動を積極的に支援し、社会全体でサイバー空間の脅威に立ち向かう気運を醸成するとともに、インターネット利用者等の規範意識向上を図る。</p> <p>③ 3 少年の立ち直り支援（社会参加型）事業 1,100</p> <p>少年の健全育成に資する活動を地域ぐるみで活性化し、非行少年を生まない社会づくりを推進するとともに、少年の規範意識の向上と立ち直り支援を目的とした農業体験活動、環境浄化活動等の社会参加型の活動を推進する。</p>

事業名	当初予算額 (前年度予算額)	説明
交通指導取締費	1,820,525 (1,739,063) 国 331,763 使 259,029 諸 109,955 起 269,700 ⊖ 850,078	<p>重 1 思いやりゾーン高齢者交通安全対策事業 3,246</p> <p>高齢者の交通事故発生が予測される地域を「思いやりゾーン」と設定し、総合的な交通事故防止対策を展開して、安全・安心な交通環境の構築を図る。</p> <p>重 2 高齢者対象運転免許自主返納促進事業 390</p> <p>高齢運転者による交通事故が増加する中、高齢者が運転免許証を返納しやすい社会環境を構築し、自主返納気運の醸成を図る。</p> <p>重 3 通学時における児童・生徒の交通安全対策事業 (資-警察4) 1,564</p> <p>おうみ通学路交通アドバイザー制度を継続し、安全で安心な通学路の環境を持続するとともに、社会全体で子どもの命を守る気運を醸成させ登下校中における児童の交通事故防止を図る。</p> <p>重 4 事故多発時等の緊急メッセージ事業 3,933</p> <p>悲惨な交通事故現場からのレポート形式による広報・啓発を実施することにより、県民の意識に直接働き掛け、交通事故の抑止を図る。</p> <p>5 補助交通安全施設整備事業 455,522</p> <p>(1) 交通管制センターの整備 104,078</p> <p>交通の安全と円滑化を推進するため、交通情報収集のための集中制御機の更新等を行う。</p> <p>(2) 交通信号機改良整備 133,149</p> <p>交通規制の効率化や高齢者等交通弱者の安全を図るため、視覚障害者付加装置の新設や歩車分離化などの信号機改良整備を行う。</p> <p>(3) 円滑化対策事業 112,861</p> <p>慢性的な交通渋滞の解消を図るため、集中制御機の改良や交通情報収集装置の更新を進めるとともに、信号灯器等の更新整備を行う。</p>

事業名	当初予算額 (前年度予算額)	説明
		<p>(4) ゾーン・通学路対策事業 74,214</p> <p>最高速度を時速30kmに規制する区域を「ゾーン30」地区と設定し、歩行者の通行を最優先とした道路交通安全を確保する。</p> <p>6 単独交通安全施設整備事業 249,747</p> <p>(1) 交通信号機の整備 185,874</p> <p>老朽化した信号制御機や信号柱の更新、信号灯器の整備等を行う。</p> <p>(2) 道路標識・標示の整備 63,873</p> <p>道路標識・道路標示の新設及び老朽施設の更新を行う。</p>